



平成21年10月27日

各位

会社名 和興エンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢澤 久司
(JASDAQ・コード1756)
問合せ先 取締役専務執行役員
経営管理本部長 嶋本 昭洋
電話 03-6404-2602

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月12日及び平成21年8月6日の決算発表時に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正したのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	14,750	40	56	28	1円76銭
今回修正(B)	13,940	△380	△360	△420	△26円43銭
増減額(B-A)	△810	△420	△416	△448	——
増減率(%)	△5.5%	—	—	—	——
前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2 四半期)	14,316	△194	△174	△158	△9円95銭

2. 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	13,700	55	65	32	2円01銭
今回修正(B)	12,910	△270	△260	△360	△22円65銭
増減額(B-A)	△790	△325	△325	△392	——
増減率	△5.8%	—	—	—	——
前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2 四半期)	13,703	△66	△54	△32	△2円01銭

3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間における個別業績については、昨年来の景気悪化の影響による民間企業の投資抑制が想定以上に厳しかったことや工期延長等による一部工事の繰り延べなどにより、売上高が業績回復を織り込んだ計画を下回る見通しであります。損益面においては、売上高の減少による固定費率の上昇や施工コストの改善など各種効率化施策の実現が第2四半期以降にずれ込んだことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに、当初計画を大幅に下回る見通しであります。

連結業績についても、個別業績の影響により、当初計画を大幅に下回る見通しであります。

なお、通期業績予想については現在精査中であり、業績予想の修正が必要な場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、予想には様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以 上